

#### 第4回 片瀬地区新コミュニティ施設検討会議 議事要旨

開催日時：2019年（令和元年）5月28日（火） 19時～20時30分

開催場所：片瀬市民センター 第一談話室

出席者：【検討委員】

三觜氏（委員長）、澁谷氏（補佐）、正田氏（補佐）

甘粕氏、川久保氏、森田氏、荻野氏、和田氏、坂爪氏

宇田川氏、涛崎氏、鶴岡氏、畠山氏、笹岡氏

欠席者：鈴木氏、神保氏、池田氏

出席者：【事務局】

市民自治推進課 藤岡主幹、小泉課長補佐、近藤課長補佐、遠藤

片瀬市民センター 村山センター長

配布資料：「第4回片瀬地区新コミュニティ検討会議次第」、「第3回片瀬地区新コミュニティ検討会議議事要旨（案）」、「片瀬地区新コミュニティ施設検討にかかる事前調査まとめ」

事務局からの当日配布資料：「六会市民センター多機能化についての提言書」、  
「善行市民センター・公民館建て替え事業 基本構想案 提言書」

書記の指名：名簿順に指名することとし、川久保氏及び森田氏が指名された。

議事：

##### 1 前回議事の確認

- ・前回会議の議事要旨が承認された。

##### 2 「片瀬地区新コミュニティ施設検討にかかる事前調査の集計結果」について (1) 集計結果等について、事務局からの説明

- ・集計結果から、「普段は多世代の集うコミュニティ施設」・「災害時は防災避難施設」が必要という考えが確認できた。
- ・本日配布した資料（「六会市民センター多機能化についての提言書」、「善行市民センター・公民館建て替え事業 基本構想案 提言書」）を参考にしながら、今後検討していく内容を令和元年度中に提言書にまとめていく。

##### (2) 意見交換、質疑応答

- ・本日配布された資料は、「市民の家」ではなく、「市民センター」の提言書であるが、規模の違う施設のもので参考となるのか。（A委員）  
→過去に「市民の家」の提言書の例はない。施設の規模は相違するが、提言書のまとめ方（構成等）を参考にしてほしい。（事務局）

- ・市役所サイドでどのような構想をもっているかを示してほしい。(B委員)
- 市役所だけで検討すると通常の市民の家になってしまう。片瀬地区としては、このような市民の家にしたいというものを提言してほしい。(事務局)
- 特に「市民の家」の規模等については限定しないで、何をしたいか、そのためにはどのような施設にしていくかを考えていけばよいのでは。(C委員)
- 規模等は自ずと常識的なところで考えられるのではないか。(委員長)
- 「こういうものがほしい」ということを伝えていくことが必要。片瀬地区全体の合意がほしい。また、防災という観点からは、観光客のことも考えていく必要があるのでは。(D委員)
- 現段階で出てきている要望は切らずに、出していく方向にしたい。六会市民センターの提言書のまとめの形式は参考になりそう。(B委員)
  
- ・防災のことについては、山の上にあるという利点を考えながら、市役所の危機管理課や避難場所である片瀬中学校との関係を整理していく必要があるのではないか。(B委員)
- 防災の体制についても片瀬地区として、このようにしていきたいと提言してもらおう方向でよいと考えている。(事務局)
- 災害時には片瀬中学校に避難できない高齢者等を収容できるようにしていくのもよいのではないか。(E委員)
- 避難の場合、何日間そこにいるのか。また、災害備品のための倉庫的な機能を持たせる必要があるのか。(A委員)
- 規模から想定しても倉庫的なものは難しい。それよりも、すでにある避難施設にないものを整備していくのがよいのではないか。(C委員)
- 一時避難と長期避難は分けて考えたほうがよいのではないか。(F委員)
  
- ・今後の進め方についてだが、論点を絞っていくほうがよいのではないか。(G委員)
- 予定としては、今年度中に提言書の完成としているが、場合によっては延長してもよいのではないかと考える。また、今回は防災に関する意見が多かったが、「片瀬地区新コミュニティ施設検討にかかる事前調査の集計結果」にはコミュニティに関する意見もあるので、次回はそれについて検討してほしい。(事務局)
  
- ・片瀬中学校の意見も聞いていったほうがよいのではないか。(G委員)
- 市役所のほうでワークショップを開催する方向で検討したい。(事務局)

3 次回日程について

2019年（令和元年）7月23日（火）19時～

片瀬市民センター 第一談話室